

令和5年度 第2回

## 安城市博物館協議会

令和5年9月29日(金)

午後1時30分～

歴史博物館・講座室

1 あいさつ

2 協議事項

(1) 令和5年度開催済事業報告

(2) 令和5年度下半期事業(案)

(3) 令和6年度事業計画

3 その他

(1) 今後の日程

・合同研修

令和5年11月8日(水)

静岡県静岡市

聖徳太子絵伝修復状況確認等

・第3回

令和6年1月26日(金) 午後1時30分から 予定

※協議会終了後、特別展「安城譜代2 三河本多一族」観覧(自由参加)

## 安城市博物館協議会委員

(任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日)

	氏名	選任区分	備考
会長	高山 忠士	学識経験者	
副会長	加藤 りせ子	社会教育	
委員	松永 博司	学校教育	
委員	荒井 信貴	学識経験者	
委員	市川 とし子	学識経験者	
委員	平岩 政志	公募委員	

## 安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。  
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた  
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、  
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- \*たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- \*きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- \*自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- \*教養を高め、若い力を育てましょう。
- \*健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

# (1) 令和5年度開催済事業報告

## ア 利用状況

(ア) 月別入館者数 ※8月31日までの入館者数

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人	計	大人計	合計				
			中学生以下		中学生以下計					
4	418	418	1,621 447	2,068	2,039 447	2,486	513	15	458	3,472
5	359	359	2,550 2,527	5,077	2,909 2,527	5,436	1,252	12	440	7,140
6	306	306	1,503 2,736	4,239	1,809 2,736	4,545	352	12	400	5,309
7	1,811	1,811	1,335 400	1,735	3,146 400	3,546	553	22	356	4,477
8	2,628	2,628	2,936 653	3,589	5,564 653	6,217	1,668	40	414	8,339
計	5,522	5,522	9,945 6,763	16,708	15,467 6,763	22,230	4,338	101	2,068	28,737

(イ) 利用形態別入館者数 ※8月31日までの入館者数

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	歴博イベント	歴博演芸場	企画展 関連イベント	文献資料室	その他	延べ利用 者合計
4	1,832	654	20	0	0	32	0	49	0	412	15	458	3,472
5	3,685	1,751	0	15	348	29	0	301	0	559	12	440	7,140
6	2,692	1,853	0	0	0	29	0	16	62	245	12	400	5,309
7	1,908	1,638	96	0	87	0	0	16	0	354	22	356	4,477
8	3,489	2,728	89	89	83	0	0	155	192	1060	40	414	8,339
計	13,606	8,624	205	104	518	90	0	537	254	2,630	101	2,068	28,737

### その他内訳

部屋利用等	745人	職場体験	(延べ) 49人
安祥文化のさとまつり	0人		
博物館実習	(延べ) 72人	多目的利用	1,202人

## イ 展示活動

### (ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
8月10日	第3章 西からの風 (安城の古代) 顔のメッセージ、弥生のムラの暮らし 第6章 村の文化 文人丈山の世界、俳諧・狂俳の世界	博物館実習生による展示実習

### (イ) 特別展・企画展

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	安城の今昔4 はかり箱 —暮らしのなかのはかる道具—	4月8日 ～6月25日	6,900人	8,209人
②	特別展	安城譜代1 徳川の支柱酒井氏—左衛門尉家と雅楽頭家—	7月15日 ～8月27日	4,300人	5,397人
			合 計	11,200人	13,606人
			参考 (4年度)	14,200人	22,250人

a 企画展「安城の今昔4 はかり☐ー暮らしのなかのはかる道具ー」

(a) 会 期 令和5年4月8日(土)～6月25日(日) 実開館日68日

(b) 観覧者数 8,209人【目標6,900人】1日平均121人

(c) 期間中の催し物

主なものは「ウ 教育普及活動」(7ページ～)に記載

(d) 音声ガイドの利用状況 88人 (利用率1.4%) ※見学学習を除いた割合

(e) パンフレット 1,600部発行(無料配布)

(f) 展示について

- ・展示点数90点、画像パネル27点、合計117点。
- ・「安城の今昔」シリーズの第4弾、身近なテーマ「はかる」を題材として、市民を中心に寄贈いただいた民俗資料を中心に紹介した。
- ・展示構成は、「はじめに」と4章の計5つのパートとした。「はじめに」では近代以降の度量衡法整備と人々への浸透の様子を篠目・高木町内会資料と安城市役所広報所有の画像から紹介した。第1～3章は長さ・容量・重さ(度量衡)に関する資料、第4章では時間・温度・地形、また担当がわからない道具などいろいろな道具を扱った。
- ・ハマイカリ山口旭薬局寄贈資料、度量衡取締条例以前の一斗枴などを紹介することができた。
- ・展示室内では身体尺、エントランスでは桿秤・一升枴の体験コーナーがあったことで体験型展示としても楽しんでいただけた。また、1,143人の参加を得たクイズラリーも展示の理解を高める有益な企画であった。

(g) 観覧者について

- ・一般観覧者6,124人、見学学習2,085人。一般観覧者の1日平均は平成30年度「安城の文化財V」、令和元年度「安城の今昔1 火消しまいる」とほぼ同数値となり、コロナ以前の状況に戻りつつある。
- ・アンケートでは男女比はほぼ半々、年代は40代が最も多く、10歳未満、50代、10代と続く。通常の特別展・企画展の観覧者層である50～70代以外の幅広い年齢層に観覧いただけた。
- ・マルシェや鎧の試着会のあったGW、マンホールカードの配布、大河ドラマ効果等、複数の要素が重なり、観覧者数の増加に結び付いた。

b 特別展「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏—左衛門尉家と雅楽頭家—」

(a) 会 期 令和5年7月15日(土)～8月27日(日) 実開館日39日

(b) 観覧者数 5,397人【目標4,300人】1日平均138人

(c) 期間中の催し物  
主なものは「ウ 教育普及活動」(7ページ～)に記載

(d) 音声ガイドの利用状況 783人 (一般観覧者利用率15%)

(e) 図録 599冊

(f) 展示について

- ・展示点数 134点
- ・今回の展示は、古くから松平氏に仕え活躍した酒井氏について、徳川四天王のひとりである酒井忠次を輩出した左衛門尉家と、初期幕政で大きな役割を果たした雅楽頭家の二家を紹介した展示であった。展示構成は時系列に沿った3章構成で、江戸時代初期までの人物に焦点を当てた。大河ドラマの影響も大きく、多くの観覧者の満足度が高かった。
- ・展示室に対して資料点数が多くなってしまったため、一部動線が混み合う部分もあった。より資料を効果的に展示するため、配置を工夫すべきところもあった。

(g) 観覧者について

- ・土日は平均196人、平日は98人の観覧者であり、目標人数を達成することができた。夏休み期間中であり、親子連れの来館者も多くみられ、県外からの入館者もみられた。お盆休み以降、観覧者数が会期末にかけて増加している。
- ・来館者アンケート(回答数306)の傾向によると、市外からの来館者が77%であり、女性46%、男性53%であった。特に西三河からの来館者が多かった。
- ・40代～60代が多く、アンケートにも大河ドラマに関係した回答が多かった。
- ・記念講演会も多くの聴講者が来館した。展示解説も実施し、早期に定員に達するなど盛況であった。

(h) PRについて

- ・取材は中日新聞とラジオのみで、メディアに取り上げられることは少なかった。新聞では展示初日に県内版に掲載され、会期中盤に資料紹介が掲載されるなど定期的にPRすることができ、展示を知ったきっかけにも新聞は上位に入っている。
- ・資料借用先のお寺や博物館がSNSで話題に挙げてくださり、指定管理者が大河ドラマ後に展示に絡めた投稿をし、コラボメニューの酒井忠次定食も話題になるなど、SNSの活用も一定の効果があった。

## ウ 教育普及活動

### (ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演題	講師	聴講者数
4月23日	はかる道具と昔の暮らし	岡本大三郎氏 (東海民具学会)	20
7月22日	初代忠次と酒井左衛門尉家の行く末	菅原義勝氏 (致道博物館学芸員)	96
8月20日	松平・徳川氏重臣酒井雅楽頭政家	平野明夫氏 (國學院大學講師)	89

合計 205 人

### b 歴博講座・入門講座・連続講座

(a) 歴博講座 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演題	講師	聴講者数
5月21日	『はかる』の歴史	西島庸介 (本館学芸員)	15
8月12日	酒井二家の相違	三島一信 (本館学芸員)	89

合計 104 人

(b) 連続講座 会場：講座室ほか 午後1時30分 資料代1,500円

開催日	演題	講師	聴講者数
4月8日	村絵図で巡る安城今むかし「箕輪村」	高山忠士氏 (本館元館長)	16
4月22日	同上 「福釜村1」		16
5月13日	同上 「福釜村2」		13
5月27日	同上 「堀内村」		16
6月3日	同上 「小川村1」		15
6月10日	同上 「小川村2」		14

合計 90 人

### (イ) 指定管理 展示関連イベント

(ロ) 開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加人数
4月8日～ 6月25日	測って量って計り☑クイズラリー	企画展「はかり ☑」	68日間	1,143
4月29日	走る！跳ぶ！体力をはかり☑	同上	1日間	57

6月10日	最新の測量機器をつかってはかり☑	同上	1日間	16
7月15日～ 8月27日	家紋のステンシルで小物づくり体験	特別展「徳川の 支柱 酒井氏」	39日間	330
7月15日～ 8月27日	クイズラリー酒井家の名宝を探せ!	同上	同上	309
7月15日～ 8月27日	安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏 フォトスポット	同上	同上	759
8月25日	ナイトミュージアム 「安城譜代1 徳川の支柱 酒井氏」 展示解説	同上	1日間	16

合計 2,630 人

(ウ) 指定管理 体験講座等

開催日	演 題	講 師	参加人数
5月3日～ 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、博物館ボ ランティア	308
5月14日	1日子ども学芸員体験会① 「博物館で安城の歴史を学ぼう」	指定管理者	20
5月21日	1日子ども学芸員体験会② 「博物館で安城の歴史を学ぼう」	指定管理者	20
7月16日	『酒井の太鼓』伝説に挑戦 ～和太鼓を体験してみよう～	協力：安城太鼓会ほだ ら	38
7月28日～ 7月30日	夏休み自由研究相談会	文化振興課職員	49
8月5日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	41
8月26日	『酒井の太鼓』伝説に挑戦 ～和太鼓を体験してみよう～	協力：安城太鼓会ほだ ら	42

合計 518 人

(エ) 指定管理 歴博演芸場 会場：石舞台・講座室 鑑賞無料

開催日	演 題	出演者	参加人数
6月24日	唱歌コンサート	安城学園高校合唱部	62
8月26日	安城太鼓会ほだら 和太鼓演奏	安城太鼓会ほだら	中止
8月27日	グレート家康公「葵」 武将隊 グレート演武	グレート家康公「葵」 武将隊	192

合計 254 人



## (オ) 指定管理 歴博イベント

開催日	タイトル	参加人数
8月1日 ～4月7日	歴史博物館クイズラリー①	12
4月8日	農家ではたらくクルマ写生大会&写真撮影会	37
5月14日 ～5月21日	マインクラフトで理想の安城市歴史博物館を作ろう!来館者投票	166
5月21日	1日子ども学芸員体験会 常設展ガイド参加人数	94
5月28日 ～6月25日	西尾町内会春祭りくじ引きガチャ	55
6月27日 ～7月14日	歴史博物館クイズラリー②	18
8月26日 ～8月27日	ナイトミュージアム「博物館ナイトツアー」	98
8月27日	ナイトミュージアム「土器ドキ晩ゴハン」	49
※8月25日 ～8月26日	ナイトミュージアム「マイブクエスト」	(66)
8月29日 ～8月31日	歴史博物館クイズラリー③	8

※マイブクエストは埋蔵文化財センターで開催

合計 537 人

(カ) 見学学習

a 市内小学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月 日	曜	学 校 名	学 年	人 数	月 日	曜	学 校 名	学 年	人 数		
5	17	水	安城東部小	6	80	6	9	金	錦町小	6	100
5	19	金	二本木小	6	122	6	13	火	里町小	6	81
5	23	火	明和小	6	48	6	16	金	三河安城小	6	94
5	25	木	安城西部小	6	89	6	20	火	梨の里小	6	77
5	31	水	安城北部小	6	130	6	23	金	安城南部小	6	96
6	2	金	桜林小	6	95	6	27	火	今池小	6	68
6	6	火	桜井小	6	141	6	28	水	高棚小	6	42
6	7	水	志貴小	6	25	6	30	金	作野小	6	99
6	8	木	祥南小	6	39	7	4	火	桜町小	6	98
									参加児童数 計	1,534 人	
									参考（4年度）	1,445 人	

b 市内中学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月 日	曜	学 校 名	学 年	人 数	月 日	曜	学 校 名	学 年	人 数		
5	24	水	安城西中	2	260	6	1	木	安城北中	2	272
5	26	金	東山中	2	233	6	29	木	安祥中	2	152
									参加生徒数 計	917 人	
									参考（4年度）	659 人	

c 市外小中学校（児童・生徒）（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月 日	曜	学 校 名	学 年	人 数
市外小中学校児童生徒数 計				0
参考（4年度（新川小））				145 人

(キ) 中高生の職場体験

【市内中学校2年生】

学 校 名	収蔵庫 見 学	土器 洗 い	土器 作 り	受付 補 助	見学学 習補助	事務 作 業	インタ ビュー	その他	備 考	
篠 目 中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間・3人	
桜 井 中	○	○	○	○	○	○	○	○	4日間・1人	
安 祥 中	○	○	○	○	○	○			4日間・4人	
明 祥 中	○	○	○	○	○	○			4日間・1人	
									参加生徒数 計	9 人
									参考（4年度）	10 人

【高等学校】

学 校 名	収蔵庫 見 学	土器 洗 い	土器 作 り	受付 補 助	常設展 説 明	事務 作 業	インタ ビュー	その他	備 考
安 城 高	○	○			○	○	○	○	2日間・2人
知立東高	○	○					○	○	1日間・3人
								参加生徒数 計	5人
								参考(4年度)	0人

(ク) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習をおこなった。

- a 期 間：8月2日(水)～4日(金)、8日(火)～10日(木) (6日間)
- b 実習生 愛知県立大学1名、愛知大学2名、岐阜大学1名、静岡大学1名  
静岡文化芸術大学1名、中京大学3名、名古屋芸術大学1名  
三重大学2名 計12名

c 実習日程

開催日	午 前	午 後
8月2日	文化振興課の役割(講義) 芸術文化行政(講義)・市民ギャラリー 見学 博物館見学	文化財保護行政(講義)・埋文セン ター見学 博物館と学校教育(講義) 博物館業務(講義)
3日	企画展示の流れ(講義) 考古資料の取り扱い	考古資料の取扱い 常設展示室の展示替え
4日	常設展示室の展示替え	地域博物館の役割(講義) 美術資料の取扱い
8日	歴史史料の取扱い	歴史史料の取扱い 常設展示室の展示替え
9日	民俗資料の取扱い	常設展示室の展示替え
10日	常設展示室の展示替え	展示替えプレゼンテーション 常設展示替え

エ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア

定例会の実施

鎧の試着会の手伝い、ナイトミュージアム使用グッズの制作(延べ9人)

(イ) 学校教育活動への支援

小学3年生の「昔の道具」学習などに対し、民具資料を貸し出し。(0件)

## (2) 令和5年度下半期事業計画案

### ア 展示活動

#### (ア) 特別展「安城譜代2 三河本多一族」

a 会 期 令和5年9月16日(土)～10月29日(日)  
※休館日：毎週月曜日、実開館日数40日

b 主 催 安城市歴史博物館・中日新聞社

#### c 趣 旨

本多氏は安城譜代として、代々安城松平家に仕え、一族から多くの譜代大名や旗本家を出しました。『寛政重修諸家譜』などの系譜類によると、本多氏は豊後国本多の助秀からはじまり、のちに尾張、三河と移ってきたと伝えられています。

本多氏はさまざまな系統に分かれています。今回の特別展ではそのうち五家を取り上げます。徳川四天王の一人である本多忠勝の一族(中務大輔家)、小川(安城市小川町)で出生したとも伝えられる本多正信の一族はもとより、特に本展では鬼作左と称された本多重次の作左衛門家、家康から田原城を与えられた豊後守家、さらに三河国伊奈を本地とした伊奈本多家について焦点を当て、本多氏に関わる様々な資料から、その活躍や一族の広がりを紹介します。

d 観 覧 料 600円(中学生以下無料)

#### e 展示構成

- ・第1章 三河の本多一族
- ・第2章 家康と本多一族
- ・第3章 要地への配備

#### f 出 版 物

- ・ポスター、チラシ、観覧券、図録(1,200部、A4判、73ページ)

#### g 関連行事 \*指定管理者事業を除く

##### (a) 特別展記念講演会

- ・9月30日(土)「本多中務大輔家の本家と分家について」  
講師：堀江 登志実 氏(岡崎市文化財保護審議会委員)
- ・10月21日(土)「越前のふたつの本多家―福井藩家老・丸岡藩主―」  
講師：角 明浩 氏(坂井市龍翔博物館 学芸員)

(イ) 企画展「家康と三河の城」

a 会 期 令和5年11月18日(土)～令和6年1月14日(日)  
休館日：毎週月曜日(1月8日を除く)、実開館日44日

b 主 催 安城市歴史博物館

c 趣 旨

愛知県には1,300件を超える城が知られています。城というと天守のある名古屋城や岡崎城などをイメージすることが多いかもしれませんが、それら城郭は江戸時代にも存続したわずかな事例です。ほとんどの城は中世に役割を終えたもので、堀や土塁で構成される「土づくりの城」でした。こうした防御性を高めた屋敷、居館または館城とも呼ぶ城館は、軍事や支配の拠点となりました。

今回の展覧会では、こうした城について徳川家康を絡めて概観していくことを企画しました。その前史となる安城松平家に関わる城にも触れながら、家康の足跡を三河の城からたどっていきます。

d 観 覧 料 無料

e 展示構成

- ・第1章 家康前史—中世の集落と城
- ・第2章 家康の誕生から三河平定まで
- ・第3章 家康と武田氏との戦い、秀吉との対峙
- ・第4章 関東移封とその後

f 出 版 物

- ・ポスター、チラシ、観覧券、パンフレット(1,600部、A4判、8頁)

g 関連行事 \*指定管理者事業を除く

(a) 記念講演会

- ・12月3日(日)「発掘調査からみた家康と三河の城・中世集落」

講師：鈴木正貴氏(公益財団法人愛知県教育・スポーツ振興財団愛知県埋蔵文化財センター調査課長)

(b) 歴博講座

- ・12月16日(土)「安城市域の中世城館」

講師：西島庸介(本館学芸員)

(ウ) 特別展「昭和の家族—安部朱美創作人形展—」

a 会 期 令和6年2月3日(土)～3月24日(日)  
休館日：毎週月曜日(2月12日を除く)、実開館日45日

b 主 催 安城市歴史博物館・中日新聞社

c 企画協力 有限会社リンクス・アソシエーツ

d 趣 旨

創作人形作家安部朱美氏は、粘土や和紙などを用いた創作人形を長年にわたり制作しており、平成19年(2007)宝鏡寺門跡人形展五十周年・人形作品公募展で大賞を受賞しました。その際の課題「和ごみのこころ」で初めて昭和を意識した「かあちゃんよんで」を制作したことから、昭和を背景にした人形を作り全国で展覧会を行う事になりました。安部氏の人形たちは精巧であるだけでなく、どこか懐かしさや温かみを感じさせます。

今回の特別展では、子を抱く母のぬくもり、包み込むような祖父母のまなざし、野原や路地裏に広がる子供の世界、ご近所同士のやわらかな交流といった、人と人を思いやり、お互いに助け合いながら日々を紡ぎ、人生をまっとうした昭和の人々の営みを安部氏の創作人形と日本を代表する詩人のひとり谷川俊太郎氏の詩をとおして紹介します。

e 観 覧 料 600円 ※中学生以下無料

f 展示構成

- (1) ともだち
- (2) 家族
- (3) 地縁
- (4) 二十四の瞳

g 出版物

- ・ポスター、チラシ、観覧券

h 関連行事

(a) ギャラリートーク

- ・2月3日(土)、3月24日(日) 午前11時30分～ 午後2時～  
安部朱美氏によるギャラリートーク

イ その他

※下半期催し物案内参照

(3) 令和6年度事業計画

令和6年度展覧会

種別	テーマ	期 間
企画展	安城の今昔5 職人の道具 (仮)	4月～6月
特別展	ごろごろまるまるネコづくし	7月～8月
特別展	国絵図展 (仮)	9月～10月
特別展	災害展 (仮)	11月～1月
企画展	収蔵品展 節句 (仮)	2月～3月